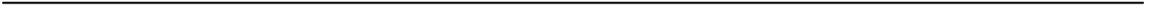


CPU バス I/F 仕様  
LCD コントローラ  
*WR* 信号に関する注意事項



CPU バス I/F 仕様 LCD コントローラ (Fast LCDC シリーズ及び Standard LCDC シリーズ) の WR 信号に関する注意事項を下記に記します。

[注意事項]

弊社の CPU バス I/F 仕様 LCD コントローラ (Fast LCDC シリーズ及び Standard LCDC シリーズ) は、図 1 の様に WR 信号の立ち上がりでアドレス及びデータバスの信号を取り込んでいます。極まれに、お客様によっては、WR 信号の立下りを誤検出し、意図しない座標にドットが描画される事例が起きています。

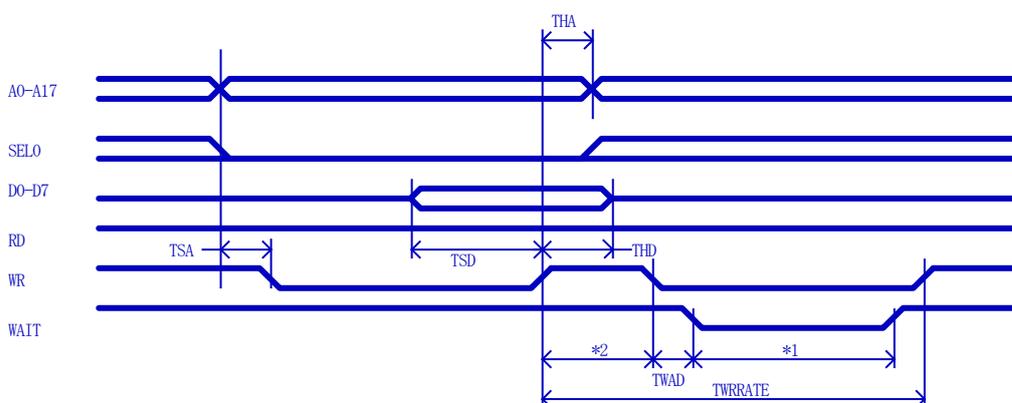


図 1 ライトタイミング図

問題なく御使用頂いているお客様もおられますが、パターンの引き回し等によって、上記の事例が起きる可能性もございます。

その対応策として、お客様で基板を起こされる時、LCD コントローラの WR 端子 (端子名及びピン番号は、各 LCD コントローラのハードウェアマニュアルを御確認ください。) の近くに、22~47pF のコンデンサを付けて頂く事を推奨致します。コンデンサと WR 端子の距離が離れますと効果がありませんので、極力、WR 端子の近くにコンデンサを配置する様にお願いいたします。

また、常温で異常がなくても、温度によって、上記の状態が発生する事もありますので、お客様の装置にて温度試験を行って、御評価して頂くことを推奨致します。LCD コントローラの動作温度範囲は各 LCD コントローラのハードウェアマニュアルを御確認ください。